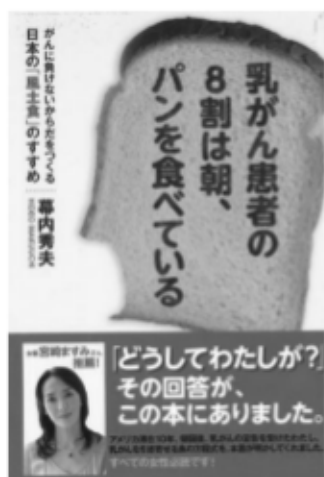


注文急増の為

緊急重版決定！6月24日頃出来！



乳がん患者の8割は朝、 パンを食べている

がんに負けないからだをつくる日本の「風土食」のすすめ

乳がんほど食生活の影響が大きい 病気はない！（本文より）

(重版から帯が変更になります)

著者紹介 幕内秀夫 (まうち ひでお)

東京農業大学栄養学科卒業。管理栄養士。山梨県の長寿村を知って以来、伝統食と民間食養法の研究を行う。日本列島を歩いての縦断や横断、また四国横断、能登半島一周などを重ねた末に、「FOODは風土」を提唱。著書多数。

条件:注文扱い
(返品常時可 了解者名:峯尾)

- 女性のガンの中で患者数がもっとも多い「乳ガン」。現在、日本では約12人にひとりの女性が乳ガンを経験するといわれています。著名人・有名人が乳ガンを罹患するといったニュースも絶えません。
- 本著者の“食”のスペシャリストで管理栄養士の幕内秀夫氏いわく、「乳ガンほど食事の影響が大きい病気はない」といいます。食の欧米化が進んだ結果、スパゲティやハンバーグなどの“カタカナ食”やパン食が増え、またチーズや牛乳といった乳製品も非常に多く取る傾向にあり、それらが乳ガンの増加と大きな関係があると言われています。
- 本書は、これまで取り沙汰されなかった乳ガンと食事の関係について焦点を当て、その予防策を具体的に解き明かしています。

貴店印	部数	乳がん患者の8割は朝、 パンを食べている
	冊	
ご担当者様名	重版 出来日 6月24日頃	著者:幕内秀夫 定価:1300円+税 四六判 並製 192P ISBN: 978-4-901841-96-2 発行・発売: (株) G.B